



お元気ですか
志村 たかよし です

第476号 2010年1月17日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「新成人のつどい」

今年の中央区の新成人は、681人



新成人にエールを送る私（左から2人目）=1/11

1月11日、中央区「新成人のつどい」が、日本橋のロイヤルパークホテルで開催されました。

天気は、曇りで寒さが強く感じられました。会場の中は、新成人となった若者たちの活気であふれていました。

今年成人式を迎えた中央区の若者は681人で、昨年の753人より減少しています。

会場が目立ったのは、ほとんどの女性が晴れ着姿だったことです。



「新成人のつどい」実行委員会の挨拶

男性は、いつもより和服が少なくスーツが多かったようでした。

インターネット調査会社が今年成人式を迎える男女を対象に行った調査では、新成人の8割が日本の未来について「暗い」と回答しています（「赤旗」1/10付）。

理由としては「景気が悪くなる一方で、年金問題などの解決のめどが立たない」や「政権交代でも、特に大きな変化がない」などの声が寄せられているそうです。



あちこちで記念写真を撮る光景が

私（志村）は、「新成人のつどい」が始まる前に日本共産党中央区議団が行った街頭からのお祝い宣伝（写真）のなかで、この調査結果を紹介しながら、「昨年の総選挙で、雇用と社会保障を破壊してきた自民公明政権を退場させた力で、今度は、7月に行われる参議院選挙で日本共産党を伸ばしていただき、政治の中身を変えて、よりよい社会を作っていきましょう！」とエールを送りました。

「国保料の4月からの引き上げやめよ」と特別区長会に申し入れ

日本共産党東京都委員会と23区の党区議団代表は、1月6日、「23区の国民健康保険料の4月からの引き上げと賦課方式見直しによる負担増はやめること」を特別区長会に対して申し入れました。中央区議団からは、私（志村）が参加しました。

23区の国保は、各区で独自に運営していますが、国保料率は23区で共通の基準を策定する「統一保険料方式」をとっています。区長会は1月15日の総会で、4



区長会事務局に申し入れる23区の区議団代表

月からの保険料引き上げと2011年度からの「賦課方式」見直しを協議し、確認する予定です。

高齢者の方や自営業者、失業者など国保加入者のなかには、今度さえ、国保料が高くて払えない世帯が増えているのに、これ以上負担が増えたら大変です。

「申し入れ」では

- 診療報酬引き上げに伴う負担増は国に財源措置を求めること
- 低所得者や収入激減者の保険料の徴収猶予・減免を拡大すること
- 保険料の引き上げを止めることなどを求めました。

各区から具体的な実態が紹介され、板橋区議団からは「板橋区では保険料滞納者は国保加入者全体の約3割にもなります。失業した青年が、保険料の滞納を理由に保険証を取り上げるとの通知を受け取った直後に自殺をしました。青

年の加入者では半数近くが保険料を滞納しています。保険料を上げず、国庫負担を増やすべき」と訴えました。

区長会の鎌形満征事務局長は

「区長会は協議機関で、決定機関ではない」と逃げの答弁に終始し、「趣旨は会長に報告する」と答えました。

「中央区職労団結旗開き」に出席



あいさつする後藤章太郎委員長

ブの一人でした。

会場には、生け花が飾られ、新春らしさを演出しており、休暇をとって準備したおでんやお汁粉もおいしかったです。

若い職員の元気が目立った旗開きでした

1月8日、「中央区職労団結旗開き」が、区役所の8階会議室で行われました。

日本共産党区議団からは、私と田辺七郎区議、鞠子勝彦区議の3人が出席しました。

他党派は、民主党・区民クラ



新入職員（右側）がクジをひく抽選会は盛り上がりました。